

# 大分市の 水は どうなっているの？



## 川や海のように

工場の排水規制の強化、生活排水対策としての下水道や浄化槽の普及により、きれいな水になっています。



(写真：大分川 [滝尾橋])



## 大分市の大きな浄水場、下水処理場はどこ？

わたしたちが使う水はどこからきて、どこへ流れているでしょう？

浄水場	
番号	施設名
①	古国府浄水場
②	えのくま浄水場
③	横尾浄水場

下水処理場	
番号	施設名
④	弁天水資源再生センター
⑤	宮崎水資源再生センター
⑥	原川水資源再生センター
⑦	大在水資源再生センター
⑧	松岡水資源再生センター

## 飲み水をつくる

浄水場は、大分川や大野川の水を使って水道水をつくります。

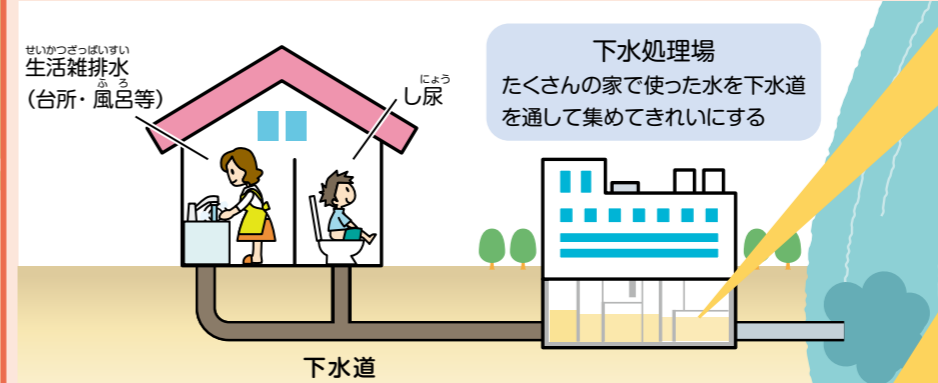


(写真：① 古国府浄水場)

## 汚れた水をきれいにする

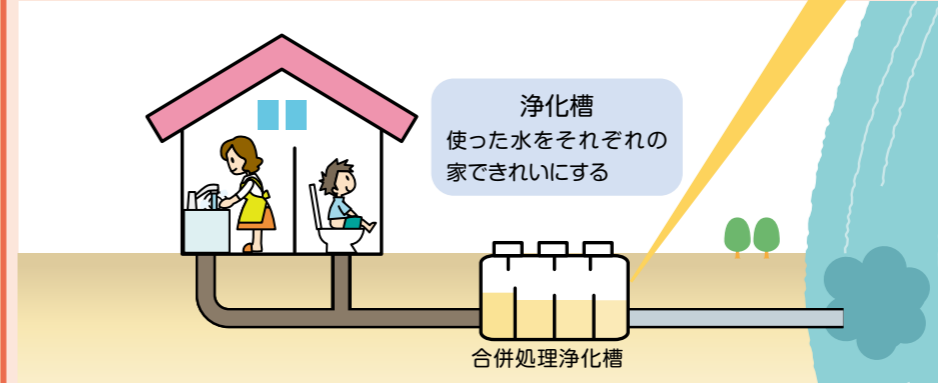
下水処理場や浄化槽は、汚れた水を微生物の力できれいにして川に流します。

○下水道のあるところ

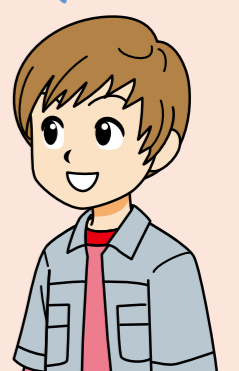


よこれを食べて水をきれいにします！

○下水道のないところ



下水道や合併処理浄化槽の整備が重要だね！



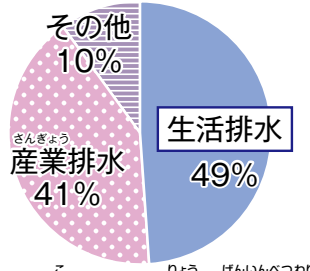
## 水の循環じゅんかん

水は自然の中で循環しています。そしてわたしたちの暮らしを支えています。限りある水を大切に使いましょう。

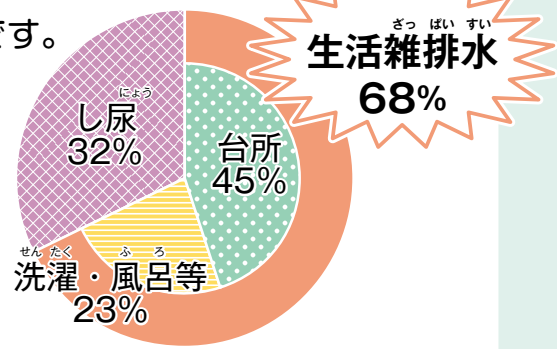


## 川や海の水はなぜ汚れるの？

主な原因は、わたしたちの暮らしから出る生活排水です。



瀬戸内海に流れ込む汚れの量の原因別割合



出典:環境省「浄化槽による地域の水環境改善の取組み」

## コラム 考えてみよう! 海洋プラスチックごみの問題

ペットボトルやレジ袋など日常生活の中で私たちが使っているプラスチック。これらがきちんと処理されずに捨てられることにより、その多くは私たちの住む町の河川や水路から海へ流れ込み、海洋プラスチックごみとなります。そして海の波や紫外線などの影響を受け、非常に小さなプラスチック粒子(マイ



# さないために

## 暮らしの汚れはどれくらい？

汚れのもとをそのまま流した場合、魚がすめる水にするのに浴槽何杯分の水が必要でしょう。(浴槽1杯=300L)



使用済み天ぷら油

500mL ▶ 500杯



マヨネーズ

15mL (ひとしぼり) ▶ 13杯



みそ汁

180mL (おわん1杯) ▶ 4.7杯



米のとぎ汁

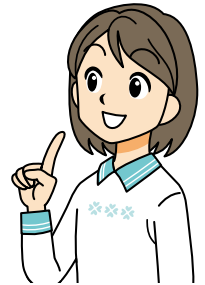
500mL (1回目) ▶ 4杯



シャンプー

4.5mL (ワンプッシュ) ▶ 0.67杯

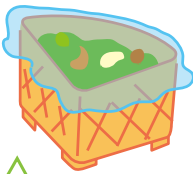
汚れた水をできるだけ出さないことが大切だね！



出典:環境省「生活排水読本」

## わたしたちが今日からできること

台所では



調理くずは、水切り袋と三角コーナーを使って取りのぞこう。

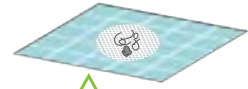


料理は必要な分だけ作って、残さずたべよう。

洗濯では



洗濯はできるだけまとめて行い、適量の洗剤で洗おう。



お風呂の排水口に目の細かいネットを張って髪の毛などを取りのぞこう。



シャンプーやリンスは使いすぎないようにしよう。

お風呂では



米のとぎ汁は、よい肥料になるので植木や庭にまこう。



食器を洗う前に、油污れなどはいらぬ紙や布でふきとろう。

その他

川や水路にごみを捨てないようにしよう。



クロプラスチック) となり、それらを海洋生物や海鳥が体内に取り込んでしまうなど、世界中の海洋環境や生態系への影響が心配されます。

マイボトル、マイバッグを持ち、使い捨てプラスチックの使用をへらしたり、きちんと分別して捨てたりするなど、プラスチックごみをへらす取り組みを考えてみよう。

